



TEMPERATURE  
RATINGS

# CDP気温上昇スコアのご紹介

CDPキャピタルマーケットセミナー  
20 Oct 2020

塚本悠平

Project Manager



# Agenda

- ▼ CDP / WWF気温上昇スコア計算手法
- ▼ CDP気温上昇スコアデータセット

## 気温上昇スコア: 企業A

バリューチェーンを通じた排出 (スコープ1+2+3)

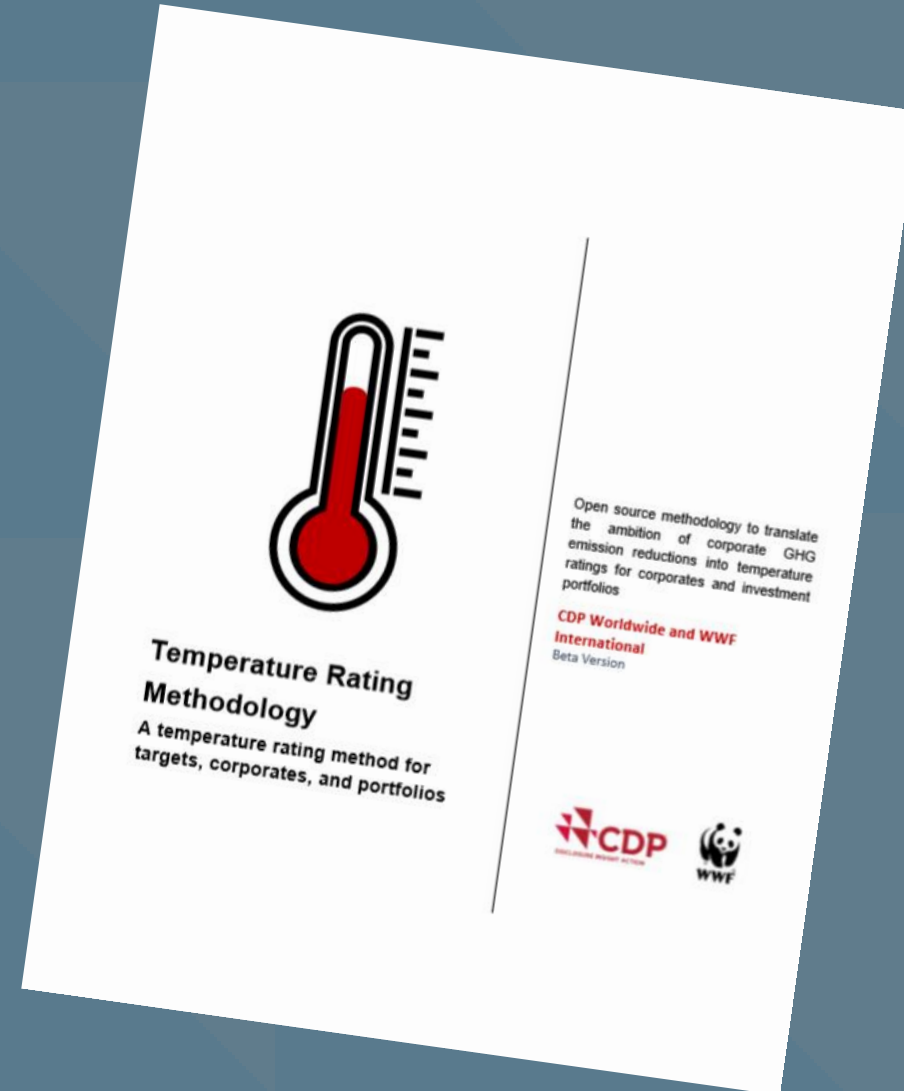
3.2°C

直接操業時の排出(スコープ 1+2)

1.7°C

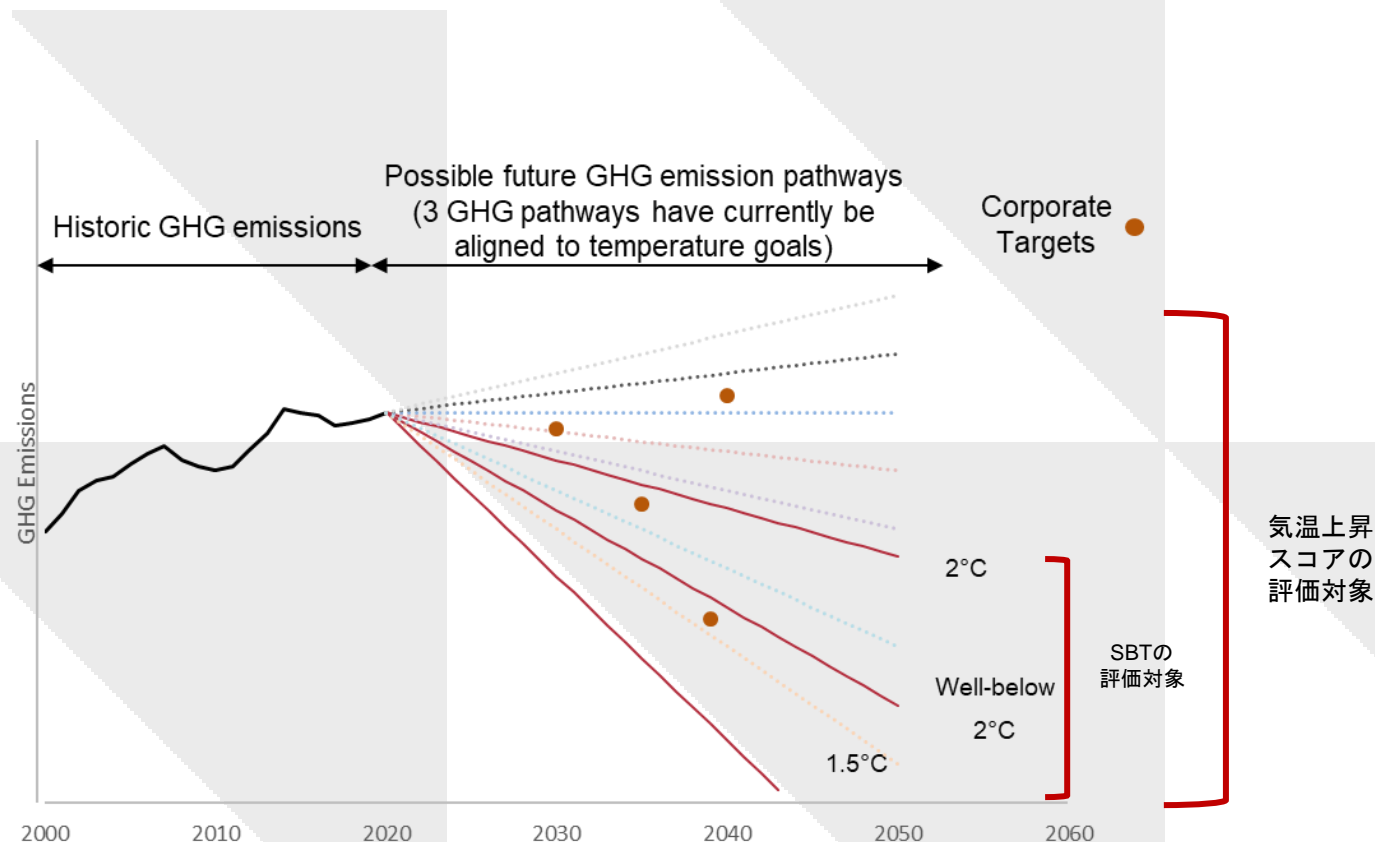
現在の排出削減目標に基づくと、A社の操業時(スコープ 1 +2)とバリューチェーン全体(スコープ1+2+3)の排出について、それぞれ 1.7°C と 3.2°C 相当の長期の世界全体での温暖化をもたらします。

# CDP & WWF 気温上昇スコア計算手法



# 気温上昇スコア計算手法

- ▼ IPCCシナリオ群に基づいて構築。オープンに使える公開された手法であり、SBTイニシアチブの設定した要件と整合しています。
- ▼ SBTイニシアチブの評価対象について、拡大し、いずれの公開された排出削減目標も評価可能としました。
- ▼ 企業の気温上昇評価が、より広い気温上昇の幅で可能としました。(1.5-5°C)



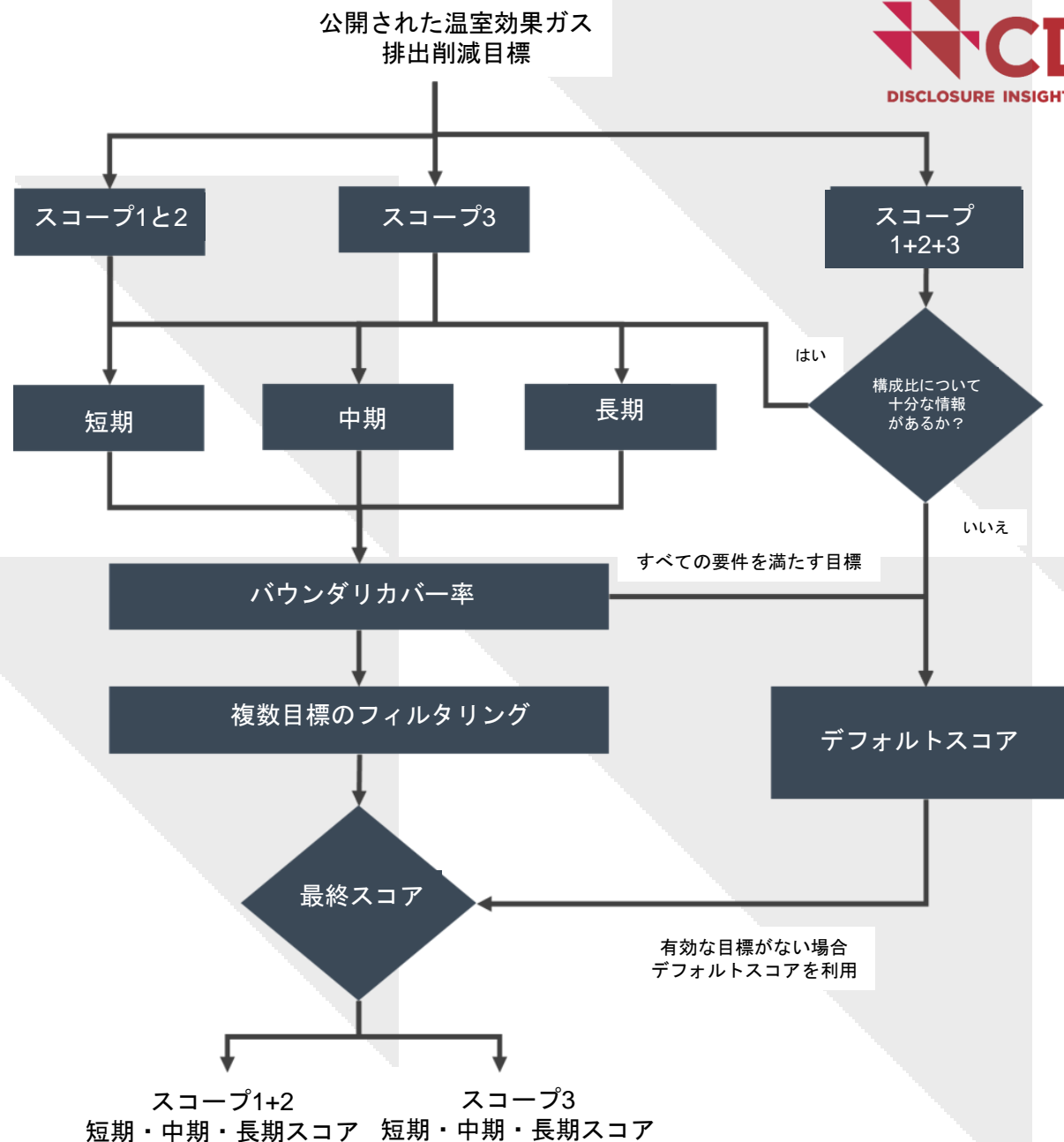
# 気温上昇スコア計算手法

- ▼ 企業の目標水準を評価するのは複雑です：目標は異なる単位で、複数の時間軸にわたり、異なる排出スコープを対象としています。
- ▼ 目標水準を、共通で直感的に理解でき、かつ長期の気温という結果に変換できるようにしました。

たとえばこんな目標	気温上昇スコア
2025年までに総量で30%削減	1.8°C
2030年まで毎年4%削減	1.9°C
売上あたり排出を2030年までに50%削減	2.1°C
MWhあたりの排出を2025年までに25%削減	3.1°C

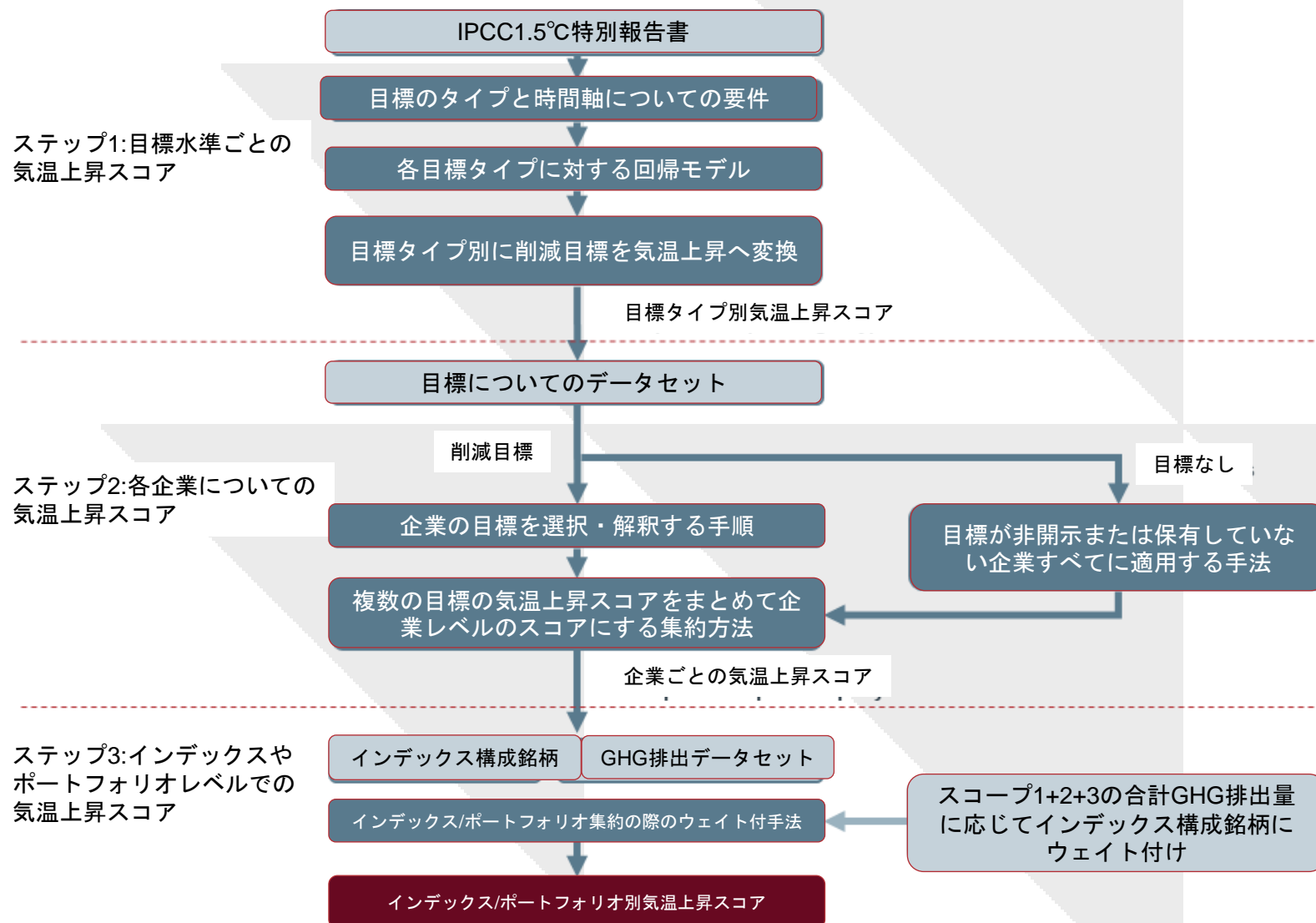
# 気温上昇スコア計算手順

- ▼ スコープごと (スコープ 1+2 vs scope 3) と時間軸 (短期、中期、長期)について、分類します。
- ▼ それぞれの目標について、バウンダリのカバー範囲を評価します。
- ▼ 複数の目標を集約して企業レベルでの気温上昇スコアを計算します



# 気温上昇スコアのステップ

1. 企業の目標を変換する計算手順を、整えた目標データに当てはめます。
2. 目標のスコアは、スコープや時間軸について、企業レベルに統合されます
3. 企業スコアは、ウェイト付けした上で、ポートフォリオレベルに集約されます





# CDP気温上昇スコアデータセット

# CDP気温上昇スコア・データセットの概要

- ▼ **2850社の気温上昇スコアが含まれます\***
- ▼ 気温上昇スコアの、スコープごと(スコープ1+2とスコープ1+2+3)と時間軸(短期、中期、長期)ごとの内訳を含みます。
- ▼ **1社あたり、35のデータポイント**が含まれます。これには目標の要約と目標の品質スコアが含まれます。
- ▼ 拡張版には、企業のGHG排出量データ (スコープ 1+2+3), GHGデータ品質スコア、そしてポートフォリオ気温上昇スコア計算機能が付いています。
- ▼ **SBT認定目標を毎月更新します。**
- ▼ **CDP署名投資家にご利用いただけます。(データ利用権は別途有償)**

以下が含まれます:

- ✓ ISINコード、 CDP活動分類
- ✓ 技術ノート&ガイダンス
- ✓ ポートフォリオ気温上昇計算機能 (拡張版)

\*サンプルは、CDPの署名投資家に利用可能な気温上昇スコア（非上場企業を含む）が含まれます。有効な目標データがCDPに開示されていないことから、デフォルトの3.2度との評価になっているスコアは約60%です。

# CDP気温上昇スコアの特徴

## 透明性

- ▼ CDPとWWFによって開発され、公開されていて<sup>1</sup>, 専門家によってレビューされたオープンソースの気温上昇スコア計算手順（プロトコル）に基づいている。

## 将来の目標をみる

- ▼ 現在の排出から予測（外挿）するのではなく、企業の目標に基づいている。

## 科学に基づいている

- ▼ プロトコルはIPCC1.5℃特別報告書、統合モデルコンソーシアム(IAMC)をもとにした気候シナリオデータベースからの排出パスをもとにしている。

## スコープ3を含む

- ▼ バリューチェーンを含む企業の目標を体系的に評価する。

## 詳細である

- ▼ スコープごと、時間軸ごとの個別の気温上昇スコアを提供。

## CDPデータを活用

- ▼ CDPのデータ分析部門が推計を含めて編集した温室効果ガス排出、そして目標についてのデータ（開示データを基にした推計データ）を活用している。

## 多様な活用が可能

- ▼ 金融機関のポートフォリオ分析や目標設定だけでなく、企業のサプライチェーン分析でも活用可能。

# CDP気温上昇スコア活用方法

CDP気温上昇スコアは、史上初の企業の排出削減目標についての気温上昇スコアです。将来に向けた (forward-looking) 気候リスク分析およびポートフォリオ目標設定に最適です。

## 企業分析

- ▼ 気温上昇スコアを将来についての気候関連の移行リスク分析に統合する。
- ▼ ガバナンス、リスク管理、または低炭素投資の補助的データとして活用する。
- ▼ 最も少ない気温上昇をもたらすと示唆される株式 (best in class) を選択する。
- ▼ 企業の将来のカーボンフットプリント予想値を計算する。

## 企業エンゲージメント

- ▼ 意味のある温室効果ガス排出削減目標を設定するようエンゲージメントを行う。

## ポートフォリオ評価& 目標設定

- ▼ 御社のファンドの気温上昇スコアを計算し、SBTi要件のもと科学に基づく目標を設定する。目標に対する進捗をモニタリングする。

## 報告&開示

- ▼ ポートフォリオの気温上昇、そして目標について、ステークホルダーに開示する。